

財政再建方針及び第 6 次行革大綱との連携【たたき台】

■日野市を取り巻く状況

- ・日野市の財政状況(過年度の決算推移、基金・市債残高 など)
- ・財政非常事態宣言について(経常収支比率 100%、R2 予算編成)

■財政運営のあるべき姿と目標

- ・目標とする財政運営の姿(財政調整基金に頼らない、プライマリーバランス黒字 など)
- ・目標とする財政指標(基金残高、市債残高、経常収支比率 など)

■財政状況の現状と課題

- ・財政非常事態宣言に至った財政上の課題

■財政再建に向けた方向性

- ・財政再建に向けて日野市のあるべき姿を整理

■上記の方向性を踏まえた取組にあたり

- ・コロナの発生と財政上の影響(今後の財政収支見込み、収束が見込めない)
- ・コロナ対策を最優先、収束の見通しが立つまで再建期間は設定しない
- ・但し、今後の収支見通しを踏まえながら、財政再建の取組は進めていく

■財政再建に向けたチェック機能

- ・行財政改革推進本部会議(庁内)や行財政改革推進委員会(庁外)で進行管理

■第 6 次行財政改革大綱の方向性

- ・第 5 次行財政改革大綱の考え方を継承しつつ、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」時代を見据えた新たな行革の方向性を取り入れる
- ・財政再建方針の方向性などの考え方を 6 次行革大綱にも取り入れる
- ・全事業を対象とした「経常経費見直しのための調査」から見えてきた財政的な課題を反映